

小松原地区学習サロン支援事業



取組地域：小松原地区

取組年度：令和5年度

事業主体：小松原地区まちづくり協議会

事業費：530,954円（基金活用額 450,000円）

問合せ：☎24-1900

課題・取組の概要

- 夏休み期間を中心として、学習サロンを開設する自治公民館が4館あり、開設を計画している自治公民館もある。
- 会場となっている自治公民館の学習環境は未整備であり、必要な備品等を整備し、学習環境を整えることにより学習サロンの内容を充実させる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- プロジェクト、スクリーンを地区公民館で保管し、各自治公民館からの貸出要請に対応していく。
- 各自治公民館にホワイトボードを設置する。

今後の課題・アドバイス等

- 子どもたちの積極的なサロンへの参加を促すような、学習サロンの内容を検討する。

妻ヶ丘地区福祉活動充実事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和4年度

事業主体：妻ヶ丘地区民生委員児童委員協議会

事業費：357,000円（基金活用額 357,000円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 「人々に寄り添いながら身近な支援者・相談役」である民生委員児童委員の存在や活動を知ってもらい、地域住民に安心を与え、相談しやすい環境を整える必要があった。
- 民生委員児童委員のユニフォームとしてロゴマーク入りの「ジャケット、Tシャツ」を各32着、のぼり旗50本、横断幕2枚を製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ロゴマーク入りのジャケット・Tシャツを着用することにより、民生委員児童委員であることが一目瞭然となり、のぼり旗や横断幕を活用した周知を行うことで、地域住民が安心して相談し、支援を受けられる環境づくりができた。
- ジャケット・Tシャツは、各民生委員児童委員が責任をもって管理し、のぼり旗・横断幕は妻ヶ丘地区民生委員児童委員協議会が管理

今後の課題・アドバイス等

- 更新について、財源や時期を検討しておく必要がある。
- まちづくり協議会、社会福祉協議会その他関係機関とも連携し、ふれあいまつり、福祉総合研修会、高齢者友愛訪問等の地域活動に活用していきたい。

スマイルカフェ祝吉事業



スマイルカフェ

取組地域：祝吉地区

取組年度：令和3年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：6,477円（基金活用額 6,477円）

問合せ：☎080-2772-9661

課題・取組の概要

○毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。また、事業の対象者として地域で孤立している世帯や生活困窮世帯としている。新型コロナウイルス感染症の影響で例年開催していた集合型の会は中止となる。そこで、弁当配布に変更し、これまでのつながりを絶やさないためにも継続して事業を実施した。また、コロナ感染者が減少傾向にあった10、11月には実行委員会で弁当作りを行い、配食と自治公民館に取りに来ていただくドライブスルー形式両方にて参加者との交流を図った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○毎月訪問し、顔を見て声掛けを行うことで、地域住民とのつながりが継続された。また対象者の家を訪問することで、家庭の様子など把握でき、関係機関との情報共有などを通して今後のさらなる支援につながった。対象者も毎回弁当配布を楽しみにしてくれており笑顔で迎えてくれ、子どもたちの成長も楽しみとなった。10回実施、計164個の弁当を配布した。

今後の課題・アドバイス等

○弁当配食を中心のため、限られた時間の中で特定の人との関わりしか生まれず、参加者同士の横のつながりなどの希薄化がさらに進んでしまった。来年度は実行委員会の全体会なども開催し、協力機関との連携の強化や参加者の集う場をつくっていきたい。また、現在の参加者は子育て世帯が中心のため、民生委員や第2層生活支援コーディネーターの情報などをもとに、高齢者なども事業の対象とする中で、地域でのつながりや居場所づくりを強化していきたい。

スマイルカフェ祝吉事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和4年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：239,244円（基金活用額 224,000円）

問合せ：☎080-2772-9661

課題・取組の概要

○毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。また、事業の対象者として地域で孤立している世帯や生活困窮世帯としている。新型コロナウイルス感染症の影響で例年開催していた集合型の会は中止となる。そこで、令和2年度から弁当配布に変更した。また、年度初めに実行委員会（民生委員児童委員協議会、女性連絡協議会、福祉施設）の全体会を開催し、今年度の取組について話し合い、10月から実行委員会による弁当づくりを実施した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○実行委員会の全体会を開催することで、これまでの取組の振り返りと実行委員会の横つながりが生まれた。また、メニューを話し合いながら決めてることで、季節に応じたものや家庭料理を参加者に食べてもらえるよう工夫した。高齢者の困りごとをつなぐ、第2層生活支援コーディネーターや民生委員の情報提供により、新たな家庭の参加もあり、事業が必要な世帯への支援につながった。5～9月は弁当配食、10～3月は実行委員会による弁当づくりを行い、配食と地区公民館に取りに来てもらうドライブスルー形式で実施した。

今後の課題・アドバイス等

○一昨年度より弁当配食が中心のため、配食者と参加者のみの限られた関係しか構築できていないのが課題である。集合型で開催した際に楽しんでもらえるよう、何がしたいかを参加者に対してアンケートを実施し、これをもとに内容を検討していきたい。

スマイルカフェ祝吉事業



取組地域：祝吉地区

取組年度：令和5年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：275,810円（基金活用額 269,000円）

問合せ：☎080-2772-9661

課題・取組の概要

○毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。また、事業の対象者として地域で孤立している世帯や生活困窮世帯としている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度より弁当配食、令和4年度10月からは実行委員会による弁当づくりを実施し配食していた。今年度は状況が落ち着いたこともあり、12月から食事会を再開した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○今年度から地区内で実施している生活・学習支援事業実施団体にも参加してもらい、地域のボランティア団体を支える場としても意義のある事業となった。また、会食再開時には参加者同士の横のつながりも生まれ、およそ4年ぶりの再会に互いに喜んでいる様子がみられた。配食から会食に切り替えるにあたって、参加者が楽しんで参加できるよう、クリスマス会などの季節の行事やゲームなどを用いて交流の時間を大切にした。

今後の課題・アドバイス等

○会食再開になったため、今後はふれあいの時間（遊び体験や製作など）を大切に、季節に応じて楽しめる内容を考えていきたい。また、実行委員の方々の協力が必要不可欠のため、連携を図りながら、ボランティアが活動しやすいよう計画を立てて事業を実施していくたい。

スマイルカフェ祝吉事業



NPO 法人らしくによるかき氷の提供の様子



福さんの家での焼肉の様子

取組地域：祝吉地区

取組年度：令和6年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：275,810円（基金活用額 269,000円）

問合せ：080-2772-9661

課題・取組の概要

- 毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。今年度から、休止することなく12回実施することができた。毎月1回実行委員会を開催し、当月の食事内容やふれあい（体験活動）について協議し実施している。
- 今年度は自治公民館や施設、NPO法人に協力をもらい、流しそうめん等様々な形式での会食を実施することができた。地域の子どもから高齢者が参加し、多世代交流の場となっている。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 今年度は参加者がより楽しめるような開催ということで、実行委員の福祉施設に協力をもらい、流しそうめんや焼肉を実施し、好評であった。また、バイキング形式での会食も実施することで、参加者と実行委員会・ボランティアが気軽に会話を楽しむことができた。延べ428名の参加があり、昨年度より1.5倍の人数となっている。背景には地区の生活・学習支援実施団体の参加や友人を連れて参加された家庭等がいたことが考えられ、より地域での居場所として必要な事業となっているといえる。

今後の課題・アドバイス等

- 今後多世代交流の場及び地域共生社会実現のため、参加者とボランティアが互いに交流し、楽しめる場となるよう、様々な機関との連携や内容・参加者呼びかけについて工夫ていきたい。具体的には大学生ボランティアの参加協力依頼や関係機関へのチラシ配布の他、食事を1回50個程度作ることも多いため、実行委員に負担のない数等呼びかけの方法についても協議していく必要がある。

横市地区子ども体験プロジェクト事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：447,934円（基金活用額 403,847円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

○コロナ禍において、子どもたちもあらゆる面で行動の制限を強いられていた。

○見る、聞く、動くなどを子どもたちに体験させたい。

○著名な団体を誘致して劇、スポーツなどを観賞させる。

○観劇(ユニットあんてな)の誘致

○スポーツ観賞・体験(小林秀峰高校体操部)の誘致

成果・事業の特徴・工夫したこと

○観劇及びスポーツ観賞ともにたくさんの幼児、小中学生、一般及び高齢者が観賞でき、貴重な経験ができた。

○中学生のボランティア活動の機会にもなり、貴重な体験の場を作ることができた。

○申込用紙を各戸配付して、事業の周知を図った。

今後の課題・アドバイス等

○誘致団体と小学校等の行事との調整が難しい。

○継続する事業としたいが、実施を提案する団体がない。

横市地区福祉活動充実事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和4年度

事業主体：横市地区民生委員・児童委員協議会

事業費：171,182円（基金活用額 170,588円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 地域福祉活動を行う上で、地域の方に一目で民生委員・児童委員であることが分かる様にベスト、ジャケットを備える。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ユニフォームを着ることにより、一目で民生委員・児童委員であることが分かり、地区住民の安心につながり、また民生委員・児童委員さんも地区住民に声掛けがしやすくなった。

今後の課題・アドバイス等

- 次回更新時の予算の確保が課題

青少年育成協議会活動支援事業



取組地域：横市地区

取組年度：令和6年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：205,420円（基金活用額 202,020円）

問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 子ども達の餅つきの体験時に、横市地区公民館の敷地で薪を焚いて行っていたが、薪の入手や調理場所の確保が困難な状況
- アルミせいろ2段セット（ガスコンロ付）を購入することにより、青少年育成協議会活動を支援する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 青少年育成協議会に管理を依頼した。
- 横市地区まつりで活用している。

今後の課題・アドバイス等

- 事業計画書の作成時から、実施までの期間に価格が高騰して、購入物品の数を抑制した。

おきみずえほんステーション事業



取組地域：沖水地区

取組年度：令和6年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：463,296円（基金活用額 463,296円）

問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 地区公民館内に設けられた「たまり場エリア」図書コーナーの書架にある絵本や蔵書が古くなっていた。
- 幼児から小中学生を対象としたそれに応じた図書を購入し、だれでも利用できる「おきみずえほんステーション」として図書コーナーに273冊の図書を整備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 読み聞かせグループと連携して新刊の選定を行い図書購入したことで、児童が興味を持つて聞くようになったとの意見がボランティアからあった。
- 地区公民館に幼児や児童と一緒に来館された方が図書コーナーのえほんステーションに立ち寄って、絵本などを一緒に見る姿が見られた。

今後の課題・アドバイス等

- 読み聞かせグループが図書を持ち出して読み聞かせに活用する場合には、貸出簿での管理をお願いした。
- 図書の整理・管理について、定期的な読み聞かせグループとの情報交換を検討する。

絵本読み聞かせ“志和つ池”事業



取組地域：志和池地区

取組年度：令和3年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会（青少年育成協議会：読み聞かせの会）

事業費：566,536円（基金活用額 565,700円）

問合せ：☎36-0519

課題・取組の概要

- 志和池地区内の幼稚園、小学校、中学校を対象にボランティアによる読み聞かせを定期的に行っているが、既存の図書が古くなり、破損しているものもあった。
- 各世代に応じた図書や大型絵本、飛び出す絵本を218冊購入した。あわせて保管用の木製本棚等も購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ボランティアグループ内の意見だけでなく、書店と連携を図り、興味を引くような人気のある新刊等も含めて各世代に応じた図書の選定に苦慮し、時間を要した。
- 大型絵本や飛び出す絵本を購入したことにより、聞き手側は、今まで以上に好奇心を持つて熱心に聴くようになった。
- 読み手も図書が新しくなったことにより、ボランティア意識の向上につながった。
- 図書区分専用ラベルにより管理しやすい管理簿を作成した。

今後の課題・アドバイス等

- 定期的な新刊の購入によりボランティアのモチベーションを高める必要がある。
- 少子・高齢化に伴い、今後のボランティアの人材確保が重要となる。

西岳地区読み聞かせ事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和4年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：291,896円（基金活用額 290,500円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区の小学校3校を（西岳小学校、夏尾小学校、吉之元小学校）を対象にボランティアによる読み聞かせを定期的に行っているが、既存の図書が古くなり、新しい図書が少なくなっていた。
- 小学生を対象とした図書を97冊購入した。あわせて、保管用の木製本棚を整備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 読み聞かせグループの意見だけでなく、書店・小学校と連携を図り、興味を引くような人気のある新刊等も含めて図書を購入したことにより、小学生が大変興味を持って聞いていとの意見が読み聞かせグループよりあった。
- 読み手も図書が新しくなったことにより、読み聞かせの意欲が上がったとのことである。

今後の課題・アドバイス等

- 小学校の図書と区別するように、地域活性化により購入した本との別管理を依頼することが大事である。
- 西岳地区の超高齢化に伴い、今後のボランティアの人材確保が問題となっている。

福祉活動支援事業



取組地域：中郷地区

取組年度：令和4年度

事業主体：中郷地区民生委員児童委員協議会

事業費：93,500円（基金活用額 93,000円）

問合せ：☎39-0713

課題・取組の概要

- 中郷地区の方々に「住民に寄り添った相談役・支援員」として民生委員・児童委員の存在や活動を広く周知する必要があった。
- 協議会メンバーのユニフォーム（スタッフジャンパー）25着の製作

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 普段の活動の際に着用し日々の活動において協議会のPRを行う。
- イベント等において着用することで委員間の連帯感・一体感を強めることでひいては地域の福祉向上に貢献した。
- 中郷地区民生委員児童委員協議会にて貸与簿を作成し、委員交替時における適正サイズへの交換や管理を行うようにした。

今後の課題・アドバイス等

- 今後、更新時期に備えた財源確保が必要

からくり玩具チャレンジワークショップ事業



取組地域：山之口地区

取組年度：令和5年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：209,000円（基金活用額 188,000円）

問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 世界最小のティディベアのギネス記録保持者であるからくり人形師で、伝統工芸職人の森音広夢氏を講師に招いて、町内の小学生を対象にからくり玩具のワークショップを開催

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 作品づくりを体験することにより、創造力を高め、ものづくりの楽しさを培うことができた。
- からくり玩具のアート作品を展示し、子どもが触れて体験を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 保護者同伴で実施する場合は、事前に保護者にも周知を行い、早めに募集を行う。

高城地域こども食堂事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3～4年度

事業主体：ばあばの知恵袋さくら

事業費：令和3年度 156,802円（基金活用額 100,000円）

：令和4年度 181,473円（基金活用額 150,000円）

問合せ：☎58-4838

課題・取組の概要

○地域の交流の場の構築と地域の見守り活動及び人材育成を目的として、地域こども食堂を月1回実施

○一人暮らしの高齢者等や子どもを対象に店舗でのカレーの提供や店舗に来られない方のための配達も実施

成果・事業の特徴・工夫したこと

○昔の大家族の食事風景を再現し、世代を問わず好むカレーを軸として、高齢者、子どもと共に食事をする場を提供する。店に来ることが困難な場合は、配達を行うことで地域の見守り活動も行う。単身世帯・高齢者世帯の孤食を防ぐと共に、異世代交流を行うことで人材育成に寄与する。

今後の課題・アドバイス等

○令和3年度は、カレーの提供数量が計画の2倍になり、材料費も60,000円から91,000円に増加している。また、令和4年度においても多くの人にカレー等を提供しているので、今後も、衛生面に十分に配慮することが必須である。

社会福祉活動支援事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和3年度

事業主体：高城地区民生委員児童委員協議会

事業費：153,726円（基金活用額 153,000円）

問合せ：☎53-1227

課題・取組の概要

○高城地区の民生委員児童委員が活動する際に着用するジャケットを整備することで、委員の認知度を高め、地域住民が相談しやすい環境づくりを促進する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○近年、地域のつながりが希薄化し、ひきこもりや児童虐待など課題が深刻化している中で、委員の活動が複雑化している。その一方で、社会状況の変化等により、委員の十分な活動が難しい場面もあり、活動しやすい環境整備が求められている。

○今回、母子世帯や独居高齢者宅等の訪問活動用ジャケットを整備することで、地域住民に委員の活動内容を広くアピールし、理解を深めてもらうものである。

今後の課題・アドバイス等

○民生委員児童委員は3年間の任期があるが、ジャケットは貸与としているので、適正な管理が求められる。更新する際は、財源の確保について配慮する必要がある。

高城地区社会福祉活動支援事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区民生委員児童委員協議会

事業費：192,500円（基金活用額 192,000円）

問合せ：☎53-1227

課題・取組の概要

- 少子化や核家族化によって地域のつながりが希薄化し、ひきこもりや児童虐待など課題が深刻化している中で、民生委員児童委員の活動が複雑化している。
- 地域の身近な相談相手として、必要な支援を行い、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために様々な活動を続けているが、社会状況の変化等により、委員の十分な活動が難しい場面もあり、活動しやすい環境整備が求められている。
- 訪問活動用ベストを整備することで、地域住民に対して委員の活動内容を広くアピールし、理解を深めてもらうものである。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 民生委員児童委員の訪問活動用ベストを整備することで、活動しやすい環境となり、日々の地域住民の生活状態の情報を適切に把握できるので、福祉活動の推進、地域活性化を図るものである。

今後の課題・アドバイス等

- 更新時においては、財源や時期を検討しておく必要がある。

山田地区地域福祉人材育成研修会事業



取組地域：山田地区

取組年度：令和6年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：298,000円（基金活用額 298,000円）

問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 高齢化社会が進む中、認知や介護、入所入院等に時間を費やす高齢者も多くなっている。
- いざ身近な親族が要介護状態になった際、その身内は、相談や諸手続等、未経験の対応に追われ混乱、錯綜する。
- 介護保険制度について、研修のテーマを設け、基本から制度利用の手続き、介護認定に応じた介護サービス内容や施設、今後の制度の在り様まで広く深く学ぶ。
- 地域内の要介護者とその家族等の案内人となり、地域福祉貢献の資となる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 6回の研修テーマ ①知ってお得！介護保険の基本、②介護認定って何？、③認知症の理解とサポートのポイント、④家での介護をもっと楽に！在宅サービス紹介、⑤自宅じゃないけど安心！介護施設の生活を知ろう、⑥健康長寿を目指して！介護予防とこれからの取組
- 講師依頼、関係各機関との連絡調整
- 一過性のイベント的研修会と違い、じっくりと深堀した研修を1年通して開催できた。

今後の課題・アドバイス等

- 今後もいろんなジャンルの研修会を企画していく
- 長期間の事業を実施するには、それなりのモチベーションとパワーが必要となり、加えて周囲や関係各位の協力があってこそその事業となる。